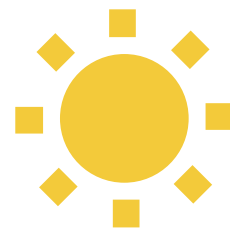


第476回機振協セミナー



令和5年度 経済研究所 研究事業成果報告

「わが国における建物一体型太陽光発電 (BIPV) 関連産業の形成条件： 太陽光発電 (PV) ガラスに搭載する太陽電池の動向とBIPVとの関係を踏まえて」

太陽光発電 (PV) ガラスは、建材一体型太陽光発電 (BIPV) 設備を構成する建築用ガラスに使用されている。わが国では、戸建て住宅の屋根材については、既にBIPV設備として実用化されているが、高層ビルの外壁部を利用したBIPV設備の多くは、まだ実証段階かそれ以前の開発段階にある。

一方、欧米では、BIPVは既に産業化されており、住宅の屋根一体型に加え、高層ビルの外壁部の活用が進みつつある。また、日本は、先行してペロブスカイト系PV技術に関する研究を行ってきたが、中国は、BIPVにおける発電効率の高度化にあたり、当該PV技術の実用化に向けて大きな投資を行っている。

本セミナーでは、海外のBIPV推進政策等について整理し、わが国におけるBIPV関連産業の課題と形成条件について示し、BIPV産業を育成していくための政策について提言する。

開催日時

9月24日(火)
14:30~16:00



多田浩之 氏



井上敬介 氏

開催方式 WEBシステムによる開催 事前申込制 (先着100名 参加費無料)

講師 公益財団法人未来工学研究所 政策調査分析センター 主席研究員 多田浩之 氏

公益財団法人未来工学研究所 政策調査分析センター シニア研究員 井上敬介 氏

申込方法 URL:<https://forms.gle/d7HWRzmfPGXg54k7>
またはQRコードよりお申し込みフォームへアクセスし、
9月19日(木)までにお申し込みください。



受講票は発行いたしません。

受講時にご使用していただく資料およびWEB会議参加証は前日までにメールにてお送り致します。

なお、ご提供頂く個人情報、当協会セミナー、講演会及び展示会関連等以外に使用致しません。

WEB会議中の画面録画や録画した映像の転載は禁止させていただきます。